資料2-③
H23.8.31

平成22年度参画協働の取組　自己評価シート

（所管課名）障がい保健福祉課

1　平成22年度の細事業概要

※必要に応じて行の幅を拡大すること

事業名	障がい者在宅生活･施設利用支援事業	章	8
		節	6
細事業名	夏休みの障害児･家族支援事業		
上位事業の目的	障がいのある人の日常生活の支援や障がい施設での生活を支援し、障がいのある人の自立を促進する。		
H22年度細事業の取り組み実績	学校の長期休暇期間中の障がい児の居場所の確保や家族の介護負担の軽減等のため熊本市夏休みの障がい児･家族支援事業を実施。 ※別添資料（有・無）		
参画の手法	･利用者、ボランティア向けアンケートの実施 ･利用者、ボランティア向け事業説明会の実施 ･ボランティア募集情報について市政だより、市ホームページ、市政広報ラジオを活用し、積極的な呼びかけを行う		
協働の形態	･学校などの団体に、ボランティア募集の協力を依頼		

2　細事業コスト

（単位：千円）

	平成22年度決算	平成23年度予算	平成24年度見込み
決算額 予算額等	8,007	9,400	9,400

3　細事業の参画協働に関する自己評価

評価ポイント			具体的な取組と評価・その理由など
（情報共有）	①	【積極的な情報共有】 どのような広報活動を通じ、どのような市民を対象として、事業に関する情報を積極的に提供しましたか。また、どのような情報収集を図りましたか	･事業の利用者（保護者）に向けて、市政だよりに利用申込についての記事を掲載した。さらに、市内の小･中学校と県内の特別支援学校宛に通知を送付し、担任の先生等を通じ利用者となりうる対象者への周知を図ったことで、事業実施の周知度が向上したと考えられる。 ･事業のボランティア募集について、市政だより･市ホームページへの掲載、市政広報ラジオへの出演を通じ、広く市民に呼びかけを行った結果、市内外の住民のボランティア協力を得ることができた。 ･ボランティア募集について、市内の中学校（42校）、高校（60校）、大学（11大学）、専門学校（11校）、認可保育所（151ヶ所）にチラシを配布し協力を求めた結果、学校の実習や研修の一環としての参加につなげることができた。
参画	②	【参画の機会の提供】 どのような手法をどの程度組み合わせ、どのような市民を対象として多くの参画の機会を設けましたか	･23年度に利用ができなくなる施設が1ヶ所あったため、代替施設の検討と併せて新たな実施施設の検討を行うため、利用者（保護者）に対しアンケートを実施し、ニーズの把握に努めた。 ･事業に対する市民の満足度を高めるため、利用者に対し事業終了後にアンケートを実施し、事業周知の時期や方法、実施会場数、受け入れ定員数などについて意見を求めた。 ･ボランティア参加者に対し事業終了後にアンケートを実施し、感想や改善点などについて意見を求めた。
	③	【市民ニーズ等の反映】 どのような点に工夫して市民からの意見や情報収集･意見交換等を行い、ニーズを事業に反映しましたか	･代替施設については、22年度実施施設と同じ方面の施設で事業を実施することとした。 ･利用者のご意見を検討のうえ、これまで実施会場がなかった北部方面の施設で23年度より事業を実施することになった。
課題と改善点		利用者から多くいただくご意見のなかで実施施設の拡大については、23年度新たに1ヶ所の施設の増加につなげることができた。	自己評価：B A　よくできた B　まあまあできた C　あまりできなかった D　全くできなかった

評価ポイント			具体的な取組と評価・その理由など
協働	④	【役割の分担】 当初の期待と比べ、市民との役割分担を明確にして対等な立場で事業を進めることができましたか	・高校や大学におけるボランティア募集については、学校側に生徒たちの参加希望日や参加者数の調整などの役割を担ってもらうなどの役割分担を行い、事業を進めることができた。
	⑤	【事業効果の向上】 当初の期待と比べ、市民との協働により、行政単独で行うよりも市民満足度が高まるなどの事業効果を上げることができましたか	・学校等の団体が窓口になり団体内でボランティア募集を行うことにより、多くの学生などにボランティアとして協力してもらうことができた。 ・多くのボランティアに協力してもらったことで、障がい児1人に対し支援者を1名配置するマンツーマンスタイルで対応することが可能となり、障がい児が充実した時間を過ごすことができたと考える。
	⑥	【信頼関係の構築】 当初の期待と比べ、協働を通じて情報共有を図り、お互いの信頼関係を築き、双方が実感できましたか	利用者・ボランティア・施設スタッフと行政が協働することにより、お互いの信頼関係を築くことができたと考える。利用者からは、本事業に対する感謝の声が聴かれ、ボランティアからは“障がいに対する理解が深まった。実り多きボランティア活動だった”というような、充実感・達成感を表す声が多かった。
	課題と改善点	次年度も学校や団体と協力・連携しボランティアを募集する予定だが、参加者数が減少している団体もあるため、新たな協力相手を探すことも必要だと考えている。	自己評価：B A よくできた B まあまあできた C あまりできなかった D 全くできなかった
情報共有・参画・協働の経費や期間に関する課題と改善点			・ボランティアに対する事前説明会を事業実施前に1度開催しているが、複数回開催して欲しいとの要望があるため、今後実施方法を検討する必要がある。

4　平成23年度の計画

23年度以降の方向性	■ 拡大・充実　□ 現状維持　□ 見直し・改善　□ 縮小・終期設定　□ 廃止・休止
H23細事業の取り組み予定	平成22年度まで実施会場だった熊本大学附属特別支援学校（利用定員30名）が校舎改修工事を行うことにより利用できないため、代替施設として、2施設（利用定員15名／1ヶ所）を確保し、実施している。
参画の手法	・利用者、ボランティア向けアンケートの実施 ・利用者、ボランティア向け事業説明会の実施 ・市政だより、市ホームページ、市政広報ラジオを活用した情報提供
協働の形態	・学校などの団体に、ボランティア募集の協力を依頼

熊本市夏休み障がい児・家族支援事業（サマーほっとクラブ）の概要及びボランティアによる支援状況

１　事業の内容

夏休み期間中に乱れがちになる障がい児の生活リズムの維持や、家族の介護負担軽減などを目的に、障がいのある児童の日中預かりを行う。（平成 15 年度開始）
なお、事業の実施は５ヶ所の事業所に委託しているが、障がいのある児童１人に対し１人のスタッフが対応するためには多くの支援者が必要であることや、市民が実際に障がいのある児童と触れ合うことで障がいについて理解を深める場づくり、また、ボランティア活動の推進を図るために、市民に向けてボランティアとしての参加を呼びかけている。

２　実施会場

平成 22 年度は、５ヶ所の施設を借りて実施している。（平成 23 年度は６ヶ所）

① 熊本養護学校
② 熊本養護学校くまもと江津湖療育医療センター分教室
③ 熊本大学教育学部附属特別支援学校
④ 湖東カレッジ
⑤ セルプほほえみ

３　事業経費

委託料（人件費、事務費、ボランティア関連経費※）を支出。〔22 年度決算 8,007 千円〕
「２実施会場」①～③の３会場計　受託業者　社会福祉法人志友会〔5,050,000 円〕
④の会場　受託業者　学校法人　湖東学園〔1,500,000 円〕
⑤の会場　受託業者　社会福祉法人恩賜財団済生会支部熊本県済生会〔1,456,280 円〕

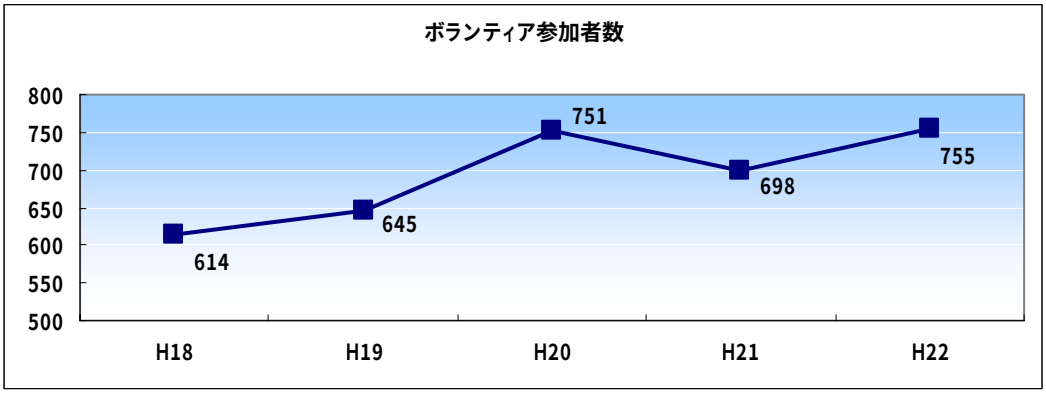
※施設により開設日数と配置スタッフ数が異なるため、契約額もそれぞれ異なる。
※事務費は、消耗品や水道光熱費。
※ボランティア関連経費は、ボランティア参加者の昼食代。

４　ボランティア募集について

ボランティアについては障がい保健福祉課を窓口として募集しているが、特に学生への呼びかけについては、高校・専門学校・大学などのボランティア担当教師などに依頼し、各学校の募集窓口になっていただくなどの協力を得ている。その他の募集方法は下記のとおり。

・市政だより、あいぽーと通信への掲載
・市ホームページへの掲載（あわせて「電子申請・届出サービス」の活用により携帯電話などから容易に申込みができるように工夫している）
・報道機関の活用（ラジオ、新聞）
・学校、事業所等団体への訪問または依頼文の発送

５　ボランティア参加者数の推移（平成１８年度～平成２２年度）



６　ボランティアの活動内容について

基本的には児童１人に対してボランティア１人が対応し、保育士や看護師などの有資格者の指導の下で活動を行う。

午前（8：30～13：00）	
9：00	担当児童の迎え入れ 荷物預かり。名札付け。
10：00	朝の集い。担当児童と体操などを行う。 自由遊び（散歩補助など）
12：00	昼食 必要に応じて介助しながら一緒に食事をとる。

午後（13：00～17：00）	
13：00	水遊び 着替えの補助。一緒に遊ぶ
14：00	自由遊び（担当児童の好きな活動を一緒に行う）
15：00	おやつ 必要に応じて介助しながら見守り
16：00	お迎え
16：45	ボランティアミーティング

●活動の様子

ルーテル学院ハンドベル部
による演奏会

水遊びの様子

熊本市　夏休みの
障がい児･家族支援事業

サマーほっとクラブ

ボランティア募集！

～夏の一日を障がいのある子どもたちと一緒に過ごしてみませんか？～

・障がいのある子どもたち（小学生～高校生）を見守り、一緒に遊ぶなどの活動を行うボランティアです。
・毎日約７０名のボランティアの協力が必要です。中学生以上であればどなたでも参加可能です。
・会場では、看護師・保育士等の資格を持った方の指導の下で活動をお願いします。

１　実施期間　７月２１日から８月３１日（日曜・祝日を除く）午前９時から午後５時まで

※会場によって実施しない日があります。
※月～金曜日に多くのボランティアが必要です。土曜日は利用児童が少ないため、ボランティアは１日あたり２～３名程度の募集といたします。
※原則として１日単位での活動をお願いします。（都合により時間短縮も可能です）

２　実施会場・利用児童数（予定）

実施会場	住所	利用児童/日
①　熊本養護学校	出水５丁目５－１６	２５名
②　湖東カレッジ	湖東１丁目１２－２６	１５名
③　セルプほほえみ	内田町３５５５－１	１５名
④　大江学園	渡鹿８丁目１６－４６	１５名
⑤　チャレンジめいとくの里	明徳町７０７－１	１５名
⑥　くまもと江津湖療育医療センター内 熊本養護学校江津湖療育園分教室	画図町重富５７５	１０名

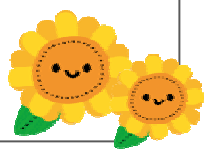
３　参加申し込み方法

- 障がい保健福祉課窓口（市役所１階）、電話、申込票郵送、ファックスによる申し込み
- インターネット（パソコン・携帯）

【パソコン】　熊本市ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞﾄｯﾌﾟ　⇒　健康･福祉・介護　⇒　福祉
【携　　帯】　熊本市ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞﾄｯﾌﾟ　⇒　よろず申請本舗

【お問い合わせ・申込先】
熊本市役所　障がい保健福祉課（サマーほっとクラブ担当）
〒860-8601　熊本市手取本町１－１　電話：096-328-2313　FAX：096-351-0202

【実施会場】
①⑥くまもと江津湖療育医療センター・・電話：370-0501　Fax：370-0503
②西原幼稚園・・・・・・・・・・・・電話：382-1156　Fax：382-1159
③なでしこ園・・・・・・・・・・・・電話：357-6615　Fax：357-6667
④大江学園・・・・・・・・・・・・・電話：364-0070　Fax：366-0290
⑤チャレンジめいとくの里・・・・・・電話：215-9101　Fax：245-2344



サマーほっとクラブ　ボランティア募集日

〇7月の募集日

7月	日	月	火	水	木	金	土
	-	-	-	-	△21	22	△23
	×24	25	26	27	28	29	△30
	×31						

△…一部会場のみ募集
×…募集を行わない日

〇8月の募集日

8月	日	月	火	水	木	金	土
	-	1	2	3	4	5	△6
	×7	8	9	10	△11	△12	×13
	×14	×15	16	17	18	19	△20
	×21	22	23	24	25	26	△27
	×28	29	△30	△31			

【お申し込みに際しての注意点】

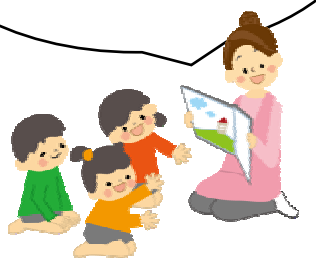
※希望者が多数の日時については、調整させていただくことがあります。
※７月９日（土）午前中に、ウェルパルくまもとにてボランティア説明会を開催します。
　ボランティア活動に関する諸注意などを説明しますので、ぜひご出席ください。

障がいのある子どもたちと触れ合うのは初めてで緊張しましたが、とても楽しかったです。どのように接すればいいのかなど、少しずつわかり、とてもいい経験になりました。（学生）

障がいを持つ子どもと触れ合うことができ、将来こんな仕事がしたいと思うようになりました。先生方の子どもたちへの接し方も学ぶことができ、とてもよい体験になりました。（学生）

とまどいながらも、いろいろ経験できました。子どもたちとの触れ合いを通じて、自分自身成長することができました。（社会人）

楽しい時間を過ごすことができました。障がいをもつ子どもや、その家庭への理解が深まりました。（社会人）



　ボランティア活動に参加された方からは、毎年さまざまな感想をいただいています。
　ボランティアに興味はあるけれど参加するきっかけがなかった皆さん、夏休み期間中にボランティア活動を予定している学生の皆さん、社会貢献活動を考えている企業の皆さん、障がいのある子どもたちと一緒に、夏の一日を過ごしてみませんか？
　ご心配な点は、お気軽にご相談ください！

平成２２年度　サマーほっとクラブ（夏休み障がい児・家族支援事業）　利用者アンケート集計

利用有り・無し共通（回答数454）

利用会場		設問1（事業を知ってたか）		設問2（事業を知ったきっかけ）					設問3（説明会）			設問4（1）事業の利用	
		①知っている	②知らない	①過去に利用	②学校からの配布	③知人から	④市政だより	⑤その他	①参加	②不参加	③出席できなかった	①利用した	②利用していない
合計	選択件数	384	70	112	260	30	13	10	29	312	36	105	279
	占有率（%）	84.58%	15.42%	26.35%	61.18%	7.06%	3.06%	2.35%	7.69%	82.76%	9.55%	27.34%	72.66%
	総選択件数	454		425					377			384	

利用している方のみ（回答数105）

利用会場		設問4（利用の理由）［複数回答可］							設問5（実施時期について）											
									（1）事業のお知らせ			（2）説明会			（3）申込受付			（4）利用決定		
		①就労で昼間不在	②一時的休息	③冠婚葬祭等	④生活リズム維持	⑤他の兄弟との時間	⑥家族の介護	⑦その他	①早い	②適当と思う	③遅い	①早い	②適当と思う	③遅い	①早い	②適当と思う	③遅い	①早い	②適当と思う	③遅い
合計	選択件数	41	60	7	70	37	8	15	4	96	3	4	93	2	21	80	1	12	79	10
	占有率（%）	17.23%	25.21%	2.94%	29.41%	15.55%	3.36%	6.30%	3.88%	93.20%	2.91%	4.04%	93.94%	2.02%	20.59%	78.43%	0.98%	11.88%	78.22%	9.90%
	総選択件数	238							103			99			102			101		

利用会場		設問6（1）実施場所			設問6（2）実施場所数		設問7　（各会場の定員規模）				設問8（調整した利用日数）					設問9（昨年度利用の有無）	
		①適切	②他の公共施設	③その他	このままでよい	増やしてほしい	①多い	②適正	③少ない	④その他	①満足	②ほぼ満足	③やや不満	④不満	⑤どちらとも言えない	①はい	②いいえ
合計	選択件数	98	3	3	59	43	9	74	14	2	52	37	7	1	3	76	24
	占有率（%）	94.23%	2.88%	2.88%	57.84%	42.16%	9.09%	74.75%	14.14%	2.02%	52.00%	37.00%	7.00%	1.00%	3.00%	76.00%	24.00%
	総選択件数	104			102		99				100					100	

利用していない方（回答数279）＋事業を知らなかった方（回答数70）＝回答数346

利用会場		設問11　今後利用したいか					設問12 利用するとしたらどこか					設問13（1）実施場所				設問13（1）③定員変更			設問13（2）実施場所数	
		①利用したい	②障害福祉サービス利用	③児童育成クラブ利用	④家族と過ごす	⑤その他	①熊本養護学校	②附属特別支援学校	③湖東カレッジ	④セルプほほえみ	⑤分教室	①適切	②他の公共施設	③定員変更	④その他	多い	少ない	不明	このままでよい	増やしてほしい
合計	選択件数	101	17	34	124	73	78	82	49	27	17	131	9	34	61	5	28	1	84	144
	占有率（%）	36.59%	6.16%	12.32%	44.93%	28.85%	30.83%	32.41%	19.37%	10.67%	6.72%	55.74%	3.83%	14.47%	25.96%	14.71%	82.35%	2.94%	36.84%	63.16%
	総選択件数	276					253					235				34			228	

設問6（2）及び設問13（2）において実施会場数を増やして欲しい場合、どこの地区がよいか。

		中央	東	西	南	北
利用あり	選択件数	12	14	4	4	10
	占有率（%）	27.27%	31.82%	9.09%	9.09%	22.73%
	総選択件数	44				
		中央	東	西	南	北
利用なし	選択件数	22	39	25	34	32
	占有率（%）	14.47%	25.66%	16.45%	22.37%	21.05%
	総選択件数	152				
合計	選択件数	34	53	29	38	42
	占有率（%）	17.35%	27.04%	14.80%	19.39%	21.43%
	総選択件数	196				

利用会場別

	北	東	中央	西	南	北	全体的に	その他
熊養	3	2	4	1	1	3	1	1
附属	4	2	3	1	0	4	0	2
湖東	2	6	1	0	0	2	0	0
セルプ	0	1	1	0	2	0	0	0
分教室	0	0	0	1	0	0	0	0
未回答	1	3	2	0	0	1	0	0
合計	10	14	11	3	3	10	1	3

平成22年度　夏休み障がい児･家族支援事業　ボランティアアンケート

設問1　今回、ボランティアに参加された理由は主に何ですか。

回答者数　328人

選択肢	回答者数	占有率
① ボランティア活動に興味があったから	135	41.2%
② 学校等の課題としてボランティア活動を夏休みの間に行うことになっていたから	157	47.9%
③ その他	36	11.0%

※その他は、「子どもが好きだから」や、「勉強のため」などの回答

設問2　多くのボランティア募集があるなかで、今回、この事業を選択された理由は主に何ですか。

回答者数　369人

選択肢	回答者数	占有率
① 障がいのある子どもたちと触れ合える機会だったから	7	1.9%
② 将来福祉の分野での勉強･仕事を目指しているから	66	17.9%
③ 障がいのある子どもたちの福祉や教育を考えるうえで参考になるから	48	13.0%
④ 友人に誘われて一緒に参加してみようと思ったから	27	7.3%
⑤ 以前、参加しており、楽しかった又はためになったから	9	2.4%
⑥ 熊本市の事業だったから	36	9.8%
⑦ その他	20	5.4%

※その他は、「実施場所が自宅から近かった」や、「今まで参加したことはなかったが興味があった」などの回答

設問3　今回のボランティア募集をどこで知りましたか。

回答者数　329人

選択肢	回答者数	占有率
① 市政だより	3	0.9%
② 熊本市のホームページ	2	0.6%
③ 学校等からの紹介	262	79.6%
④ ボランティアセンター等での紹介	3	0.9%
⑤ 参加しようとする友人の紹介	12	3.6%
⑥ 熊本市からの案内状	8	2.4%
⑦ その他	39	11.9%

※その他は、「市の施設設置のチラシ」や「職場の紹介」などの回答

設問4　今までボランティア活動の経験はありましたか。

回答者数　342人

選択肢	回答者数	占有率
① 今回がボランティア活動として初めて	141	41.2%
② 以前にも、サマーほっとクラブに参加経験あり	75	21.9%
③ ほかのボランティア活動の経験あり	126	36.8%

※「③ほかのボランティア活動経験」は、「清掃活動」や、「みずあかりボランティア」などの回答

設問5　ボランティア説明会に参加されましたか。

回答者数　322人

選択肢	回答者数	占有率
① 参加した	88	27.3%
② 参加していない	163	50.6%
③ 説明会後に募集を知ったため、参加していない	71	22.0%

※説明会については、「説明を聞くことで心構えができるので事前の説明が大切だと感じた」や、「障がいのある子どもたちとの接し方や注意点を事前に知ることができてよかった」などの意見のほか、「実施会場ごとに分かれて説明があったほうがよかった」や、「資料の文字が多くごちゃごちゃした印象を受けた」、「地図をわかりやすくしてほしい」などのご意見もあった。

設問6　ボランティアに参加してよかったと思う点

・ 障がいのあるお子さんと触れ合うことができ、将来こんな仕事がしたいと思った。
・ 施設スタッフのお子さんへの接し方も学ぶことができたので、とてもいい経験になった。これからの実習やボランティア参加の際にこの経験を活かしたい。
・ 思いやりの心を学ぶことができた。
・ 子どもの感性や考え方、障がいについて色々と勉強になり、あらためて障がいについて学び直すよいきっかけとなった。
・ 言葉は無くても、直接触れ合うことを通して、言葉以外のコミュニケーションの大切さを実感した。
・ 初めての経験で色々なことに戸惑う中で、それでも懸命に行えば気持ちは伝わり、表情が和らぎ笑顔が多くみられ、とても喜びを感じた。

設問7　ボランティアに参加して、困った点やもっとこうしたらよいと思われる点

・ トイレの介助など、どこまでどのようにしたらよいかわからず困った
・ 子どもたちの利用が少ない日は、ボランティアの手が余っていたように思う
・ 担当の子どもだけでなく、もっとたくさんの子どもたちと遊べたらよかった
・ 伝えたいことがうまく伝わらず大変だった
・ ボランティア用の手作りの名札があればよいと思った
・ ボランティア説明会での資料と、実際に行う活動が違ったため戸惑った
・ 車椅子の操作方法がわからず苦労した
・ アドバイスをいただける施設スタッフの方が少なかった

設問8　その他、ボランティア参加を通じて感じたこと、意見・感想など

・ 施設スタッフが毎年色々な面で工夫、改善されており、対応もとてもよいと思う
・ 保護者や施設スタッフの大変さが実感できた
・ 子どもたちが素直だったので、接していて自分が学ぶことがたくさんあり、充実した体験をすることができた。
・ 参加して3年目だが、来年も参加したい。
・ ボランティアを通して、人の役に立てることの喜びや、人の温かさを感じた。
・ 高校生のときから参加しているが、いつも新しい発見をすることができる。同じ障がいをもつ子でも、個性があり、対応の仕方や声掛けなど接し方が違うといつも感じる。

熊本市夏休みの障害児・家族支援事業実施要綱

制定　平成１５年７月　２日健康福祉局長決裁
改正　平成１６年５月１９日健康福祉局長決裁
平成２１年４月　１日障がい保健福祉課長決裁
平成２２年９月２４日障がい保健福祉課長決裁

（趣旨）

第１条　この要綱は、夏季休暇期間（以下「夏休み」という。）中における障害児の健全育成、家族の介護負担の軽減により、障害児及び家族の福祉の向上に資するため、熊本市夏休みの障害児・家族支援事業（以下「事業」という。）の実施について、必要な事項を定めるものとする。

（事業内容）

第２条　この事業は、夏休みにおいて障害児の預かりを行うものとする。

２　この事業の実施期間及び実施時間は、次のとおりとする。

⑴　実施期間　７月２１日から８月３１日までの日（日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日を除く。）

⑵　実施時間　原則として午前９時から午後５時まで

３　前項の規定にかかわらず、市長が必要と認める場合においては、実施期間等を変更することができる。

（対象者）

第３条　この事業を利用することができる障害児（以下「対象者」という。）は、市内に住所を有し、特別支援学校及び特別支援学級等に在籍する児童で、次の各号のいずれかに該当する者とする。

⑴　保護者が就労等により昼間家庭にいない児童

⑵　保護者の休息のため、利用を希望する家庭の児童

（事業の運営委託）

第４条　市長は、対象者及び供与するサービス内容の決定を除き、この事業を適切に運営することができる民間事業所等（以下「事業者」という。）に事業の運営を委託することができる。

２　委託に関する業務の範囲、委託料その他必要な事項については、別に契約で定める。

（利用の申請及び決定）

第５条　事業を利用しようとする障害児の保護者（以下「申請者」という。）は、熊本市夏休みの障害児・家族支援事業利用申請書（様式第１号）により市長に申請しなければならない。

２　市長は、前項の申請を受けたときは、対象者資格の有無及び利用の必要性を審査し、利用の要否決定を行い、熊本市夏休みの障害児・家族支援事業利用決定・却下通知書（様式第２号）により申請者に通知するものとする。

３　市長は、事業の実施年度より前の年度において、熊本市夏休みの障害児・家族支援事業利用者負担金徴収条例（平成１５年７月３日条例第４９号）第２条に基づく負担金の納入を完了していない申請者について、第１項の申請を却下することができる。

（登録）

第６条　市長は、前条の規定により、利用の決定を受けた申請者及び当該障害児については、熊本市夏休みの障害児・家族支援事業利用登録者台帳（様式第３号）に登録するものとする。

（利用の中断）

第７条　市長は、前条の規定により登録を受けた当該障害児（以下「利用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するに至ったときは、当該各号に該当しなくなるまでの間利用を中断させることができる。

⑴　学校保健法施行規則（昭和３３年文部省令第１８号）第１９条に定める疾病を有するとき。

⑵　疾病又は負傷のため入院治療の必要があると認められるとき。

⑶　その他市長が不適当と認めるとき。

（利用の変更及び中止）

第８条　利用者が次の各号のいずれかに該当するに至ったときは、速やかに夏休みの障害児・家族支援事業利用中止届（様式第４号）により届け出なければならない。

⑴　利用者が死亡した場合

⑵　利用者が熊本市外に転出した場合

⑶　利用者が児童福祉施設等の施設に入所した場合
⑷　その他市長が事業の利用を不適当と認めるとき

２　市長は、前項の届け出を受けたとき又は前項各号の規定に該当すると認めるときは、該当事由についての確認を行った上で、利用の中止を決定し、夏休みの障害児・家族支援事業利用中止決定通知書（様式第５号）により通知するものとする。

（報告）

第９条　事業者は、事業を実施した月ごとに、登録者の利用状況について、翌月１０日までに熊本市夏休みの障害児・家族支援事業登録者利用状況報告書（様式第６号）を提出するものとし、事業の実施状況について、事業終了後速やかに、熊本市夏休みの障害児・家族支援事業実績報告書（様式第７号）により事業実績を市長に報告するものとする。

（台帳等の整備）

第１０条　事業者は、利用者のケース記録、経理に関する帳簿その他必要な台帳を整備するものとする。

（その他）

第１１条　この要綱に定めるもののほか、事業の実施について必要な事項は、市長が別に定める。

附　則

この要綱は、平成１５年７月２日から施行する。

附　則

この要綱は、平成１６年５月１９日から施行する。

附　則

この要綱は、平成２１年４月１日から施行する。

附　則

この要綱は、平成２２年９月２４日から施行する。

様式第１号（第５条第１項関係）

熊本市夏休みの障害児・家族支援事業　利用申請書

熊本市長（宛）

私は、次の理由により熊本市夏休みの障害児・家族支援事業の利用を申請いたします。

申請年月日　　年　　月　　日

利用希望場所	☐ 熊本県立熊本養護学校　☐ 熊本大学教育学部附属特別支援学校（すずかけの家） ☐ 湖東幼稚園　☐ セルプかがやき　☐ 江津湖療育園発達医療センター内熊本養護学校江津湖療育園分教室			
申請者（保護者）	フリガナ		生年月日	年　月　日
	氏　名		性　別	男　・　女
	住　所	（〒　－　） 熊本市 （自宅TEL　－　）　緊急時連絡先（携帯TEL等）（　－　－　）		
フリガナ			生年月日	年　月　日
利用申請に係る児童氏名			性　別	男　・　女
在籍学校名・学年	学校名（　）　学年			

利用を希望する日・曜日等（右の表に○をつける）

○7月

曜日	日	月	火	水	木	金	土
日付							

○8月

曜日	日	月	火	水	木	金	土
日付							

様式第２号（第５条第２項関係）

熊本市夏休みの障害児・家族支援事業利用決定・却下通知書

障保発第　　号

〒　　－　　年　　月　　日

住所

申請者

氏名　　様

熊　本　市　長　　印

熊本市夏休みの障害児・家族支援事業実施要綱第５条第２項の規定に基づき、熊本市夏休みの障害児・家族支援事業の利用について、下記のとおり決定いたしましたので、通知します。

記

１　利用の決定

利用決定者名	
利用決定に係る児童氏名	
利用者負担額	利用1日あたり　　円
利用者負担額の納入方法	別途お知らせいたします。
備考	

２　利用申請の却下

理　　由	

問い合わせ先　　〒860-8601　熊本市手取本町1-1
熊本市障がい保健福祉課　（電話番号　328-2313）

様式第３号（第６条関係）

熊本市夏休みの夏休みの障害児・家族支援事業　利用登録者台帳

登録番号	利用登録者氏名	郵便番号	住所	電話番号	緊急連絡先	利用に係る児童の氏名	性別	生年月日	在籍学校・学年	児童の障害の状態・内容等	療育等級	身体等級

様式第４号（第８条第１項関係）

熊本市夏休みの障害児・家族支援事業　利用中止届

年　　月　　日

熊本市長　　宛

保護者　住所

氏名

年　　月　　日付障保発第　　号で通知がありました夏休みの障害児・家族支援事業については、次のとおり変更があったので、熊本市夏休みの障害児・家族支援事業実施要綱第８条第１項の規定により届け出ます。

対象者	氏　名		男・女	生年月日	年　　月　　日
	住　所				
保護者氏名					
決定年月日					
届出の理由	□　対象者が死亡したため □　対象者が熊本市外へ転出したため ※転出後の住所（　　） □　施設へ入所したため 施設種別及び施設名 施設所在地 □　その他の変更 （　　）				

※転出・施設入所等による変更の届出の場合、対象者の住所欄は変更前の住所を記入すること。

様式第５号（第８条第２項関係）

熊本市夏休みの障害児・家族支援事業　利用中止決定通知書

障保発第　　号
年　　月　　日

申請者　　様

熊本市長　　印

年　　月　　日付障保発第　　号で通知した夏休みの障害児・家族支援事業については、次により利用中止の決定をしましたので、夏休みの障害児・家族支援事業実施要綱第８条第２項の規定に基づき通知します。

記

対象者	氏　名		男・女	生年月日	年　月　日
	住　所				
利用中止決定年月日					
利用中止の理由					
備　考					

様式第６号（第９条関係）

年　　月　　日

熊本市長　　様

住所

（受託者）事業者名

代表者　　印

年　　月分　熊本市夏休みの障害児・家族支援事業登録者利用状況報告書

標記につきましては、別紙の登録者利用状況明細書のとおり報告します。

様式第６号別紙（第９条関係）

登録番号	月	日																													利用日数
	児童名	曜日																													
利用者数																															

様式第７号（第９条関係）

年　　月　　日

熊本市長　　宛

住所

（受託者）　事業者名

代表者　　印

年度　熊本市夏休みの障害児・家族支援事業　事業実績報告書

標記につきましては、次のとおり報告いたします。

<table>
<tr><td colspan="3">実施場所名</td><td colspan="11"></td></tr>
<tr><td rowspan="14">利用者の概要</td><td colspan="2" rowspan="2">利用実人員</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">利用延人員</td><td>月</td><td></td><td>月</td><td></td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">合計</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="8">日別利用人員</td><td rowspan="2">月</td><td>日付</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人数</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="6">月</td><td>日付</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人数</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>日付</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人数</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>日付</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>人数</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="6">年齢（学年）別実人員</td><td>小学校</td><td colspan="2">小学１年生</td><td colspan="2">小学２年生</td><td colspan="2">小学３年生</td><td colspan="2">小学４年生</td><td>小学５年生</td><td>小学６年生</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>中学校</td><td colspan="3">中学１年生</td><td colspan="3">中学２年生</td><td colspan="3">中学３年生</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>高校</td><td colspan="3">高校１年生</td><td colspan="3">高校２年生</td><td colspan="3">高校３年生</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="14">主な事業内容</td></tr>
<tr><td colspan="14">その他特記事項</td></tr>
</table>

注）実施場所ごとに作成すること。